

令和4年度事業報告書

社会福祉法人天 恵 園

(2022年4月1日～2023年3月31日)

～笑顔届けよう～

サステイナブルな共生社会目指して

1 事業概況

社会福祉法人天恵園では『笑顔届けよう』を理念として、どんな重い障がいをお持ちの方でも笑顔で安心して暮らせる社会の実現のため、法人を運営しています。

令和4年度は前年度同様に新型コロナウイルス感染症による利用自粛・施設の閉所などの影響を受けたものの、施設におけるクラスターの発生や重症化による深刻な事態には至りませんでした。

このような環境のもと、令和4年度の法人全体での活動収益は228,071千円、

活動費用192,771千円、結果、活動増減差額35,300千円を計上することができました。

今年度は収益・活動増減とも前年比で減少となっていますが、MOVEの事業を他の法人に承継したことによるものであり、実質的には増収・増益であります。

個別の事業においては、以下の状況でありました。

【居宅介護合】居宅介護・生活サポート・移動支援事業・訪問介護（介護保険）

法人収益全体の70%弱を占める事業で今期も順調に推移して、前年を上回る実績を計上することができました。

利用者の推移では、居宅介護の利用が減少した分、行動援護の利用を積極的に増やしたことが実績につながりました。

また利用の増加に伴う人材の確保についても積極的に行い、サービスの提供に支障が出ないようにいたしました。

【kidsプチとまと】児童発達支援・保育所等訪問支援事業

定員10名に対して登録利用者数が最大23名、1日平均利用者が9.3名と定員に近い利用者数により、前年度と同様の収益を計上することができました。

2部制での保育所・幼稚園の園児も対象とした運営が一定の評価を得て、保育所等訪問支援事業による幅広いサービス提供が認知されたことが好調な要因と言えます。

【kids花音】医的ケア含む重症児対象の児童発達支援事業

定員5名に対して、1日平均利用者が3名以下の状況が続き、前年実績割れとなりました。

要因としては、登録利用者数が6名と少なくまた医的ケアの利用者は体調等の関係でキャンセルが多く、施設側も看護師の要員確保ができず、利用者のニーズに応えることができませんでした。

なお新年度の登録利用者数は相談支援事業所、医療機関への働きかけが功を奏して10名を予定しており、看護師の配置体制も整いつつあります。

【みつばち保育園】企業内保育所・地域枠による職員以外の利用可

期首に入園者が3名と定員11名に対して大幅に欠員状態が続きましたが、下期は最大7名の入園者を受け入れることができました。要因としては法人内の職員募集の際に当園を利用可能な人材を重点に募集をかけたことによるものと、行政へのアプローチによる地域枠の募集が功を奏したと言えます。しかしながら、上期のマイナスの影響が大きく通年では前年実績割れでした。

【事業活動実績】

事業活動内訳表

(2022.4.1～2023.3.31)

(単位:千円)

拠点区分	サービス活動 収益	サービス活動 費用	内人件費	人件費率	サービス活動 増減
居宅介護合 (生活サポート含む)	154,696	119,282	97,002	63%	35,414
kids プチとまと	41,645	31,119	22,960	55%	10,526
kids 花音	19,140	25,888	17,607	92%	▲ 6,748
みつばち保育園	12,590	16,482	11,302	90%	▲ 3,892
法人計	228,071	192,771	148,870	65%	35,300

2 重要施策

(1) 人材確保・人材育成

①サービスの提供において必要となる人材確保については、採用媒介を多様化して実施してまいりました結果、今年度は19名の採用をいたしました。

事業・施設	採用職種	人数	採用職種	人数	採用職種	人数	合計
居宅介護合	ヘルパー	8(1)	-	-	-	-	8(1)
kids プチとまと	支援員	1	事務職	1(1)	-	-	2(1)
kids 花音	看護職	2(1)	機能訓練士	4(1)	事務職	1(1)	7(3)
みつばち保育園	保育士	1	調理員	1	-	-	2(0)
法人採用合計					19名(8名)		

* ()内の数値は年度内採用者の年度内退職者数は8名、今年度以前の採用者の退職者数は6名でした。

また本年度は就業規則の改定を行い、基本給の大幅な改定などの処遇改善を行い、働き甲斐のある職場を目指した取組みを従前にも増して行いました。

②人材育成はどの事業・施設においても必要不可欠な課題であり、とりわけ居宅介護においては無資格者の採用も積極的に行っている状況から初任者研修を始めとして、強度行動障害実践研修・虐待研修・同行支援研修・実務者研修他、介護福祉等資格取得およびOJTは積極的に行ってまいりました。

(2) 危機管理 (各委員会の開催)

危機管理に資するため、虐待防止委員会・感染症対策委員会・災害対策委員会を設置して毎月1回の開催において、現況の把握・問題点の洗い出し・課題に向けた対応等の協議をしてまいりました。

監査報告書

令和5年5月20日

社会福祉法人 天恵園

理事長 関根 史 殿

監事 藤 瀬 直 子

監事

私たち監事は、4年4月1日から5年3月31日までの年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上


監査報告書

令和5年5月17日

社会福祉法人 天恵園

理事長 関根 史 殿

監事

藤本 真二 

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの令和4年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

役員名簿

(令和5年6月12日現在)

役職名	しめい 氏名	生年月日	年齢	郵便番号	住所	電話番号	職業	親族等特別 関係の有無
理事長	せきね ふみ 関根 史						NPO法人理事	無
理事	やまむろ なみ 山室 奈美						行政書士	無
理事	しらき れみ 白木 麗弥						弁護士	無
理事	つじ じゅんしろう 辻 純志郎						NPO法人理事長	無
理事	やまの ひろふみ 山野 裕文						当法人部門長	無
理事	たかはし さなえ 高橋 早苗						当法人施設長	無
監事	ひろせ なおこ 廣瀬 直子						税理士	無
監事	ふじもと しんじ 藤本 真二						社会福祉法人 理事長	無

評 議 員 名 簿

(令和4年9月1日現在)

し め い 氏 名	生年月日	年 齢	郵便番号	住 所	電話番号	職 業	社会福祉事業 関係履歴	親族等特別 関係の有無
おおやま くにゆき 大山 邦之						会社経営	現 NPO 法人代表	無
こばやし えりこ 小林 恵理子						会社員		無
やまもとせいいちろう 山本 誠一郎						自営業	現 自治会評議員	無
すずき じゅんこ 鈴木 純子							現 民生・児童委員	無
とくがみ しげこ 得上 成子							現 民生・児童委員	無
あおき てるよ 青木 照代						NPO法人代表	現 NPO法人代表	無
きし ひでとし 岸 秀俊						NPO法人職員		無

選任委員 名 簿

(令和3年6月3日現在)

し め い 氏 名	生年月日	年 齢	郵便番号	住 所	電話番号	職業	選任資格
ひろせ なおこ 廣瀬 直子						税理士	監事
かきぬま かずこ 柿沼 和子						法人職員	職員
こじま はなえ 小島 英絵						NPO法人 代表	外部委員

令和5年度(2023年)社会福祉法人天恵園 事業計画

『笑顔を届けよう』～サステナブルな共生社会めざして

社会福祉法人天恵園では『笑顔を届けよう』を理念に、どんなに重い障がいをお持ちの方でも笑顔で安心して暮らせる社会の実現のため、法人を運営しています。

この数年は新型コロナウイルス感染症により、感染防止対策・施設の閉所・ご利用者の自粛・職員の補充等事業活動に多くの影響が出ておりました。このような状況にも関わらず2022年度は事業収益は黒字を計上することができましたが、一方で人事面やBCP対策準備等の課題が残っています。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症も感染症分類5類への変更と同時に、影響も小さくなることと推察されますが、新たなスタートとして、この1年は数年来の懸案事項や課題の克服、令和6年度の報酬改定・制度改定等が想定されることから、これらの対応における準備を進めてきたいと考えております。

【事業予算】

(単位:千円)

	費目	居宅介護合	kidsプチとまと	kids花音	みつばち保育園	事業区分合計
事業活動による収支	介護保険事業	170				170
	保育事業				15,600	15,600
	障害福祉サービス等	159,830	41,000	25,000		225,830
	そのほか	1,100				1,100
	事業活動収入計	161,100	41,000	25,000	15,600	242,700
	人件費	96,000	25,000	17,100	12,100	150,200
	事業費	3,139	1,362	1,131	426	6,058
	事務費	19,710	6,350	8,768	4,310	39,138
	支払利息	63				63
	事業活動支出計	118,912	32,712	26,999	16,836	195,459
(1)事業活動増減	42,188	8,288	▲ 1,999	▲ 1,236	47,241	
施設整備等収支	設備資金借入金元金償還支出	1,650				1,650
	車両運搬具取得支出	2,500				2,500
	(2)施設整備収支	▲ 4,150				▲ 4,150
その他活動収支	拠点区分間繰入金収入			2,000	1,500	3,500
	長期運営資金借入金元金償還	1,008				1,008
	拠点区分間繰入金支出	3,500				3,500
	その他活動による支出	270				270
	その他活動による支出計	4,778	0	0	0	4,778
	(3)その他活動収支	▲ 4,778		2,000	1,500	▲ 1,278
(4)予備費支出	3,000				3,000	
(5)当期資金収支差額合計 (1)+(2)+(3)-(4)	30,260	8,288	1	264	38,813	

* 全拠点とも、新型コロナウイルス感染症の影響がなくなり利用状況が改善する前提で予算を策定しています。

【重点施策】

事業予算達成に向けて、また過年度の懸案事項・課題等の克服に向けて以下の重点施策を推進してまいります。

1 職員の拡充

利用者ファーストに基づく職員のシフト体制の確立を目指して、募集媒体の拡充により即戦力の採用を推進します。

事業所・施設	採用者数目標	
居宅介護合	正職員1名(介護福祉士)	非常勤20名(介護福祉士・初任者研修終了)
kidsプチとまと	正職員1名(保育士)	非常勤3名(保育士・児童指導員)
kids花音	正職員1名(看護師)	非常勤3名(看護師・保育士・児童指導)
みつばち保育園	正職員1名(保育士)	非常勤2名(保育士)

2 職員のレベルアップ

職員の実務能力UPおよび周辺知識の習得を目指した研修の充実を図ります。また業務マニュアルの改定を行い、さらに均一化されたサービスの充実に努めていきたいと存じます。

別紙:天恵園研修資格取得体系

3 BCP取組の強化

2021年に危機管理マニュアルを作成し、昨年はBCP(事業継続計画)を策定し、水害による避難確保計画に基づく避難訓練も実施しましたが、さらに大規模災害時(地震発生時)における安否確認のシステム化による職員招集の確立および優先業務の利用者対応の標準化に向けた対策準備および危機管理マニュアルの改定等を実施いたします。

BCP重点取り組み	<ul style="list-style-type: none">・優先業務へのアプローチ 利用者属性による選定・ケーススタディ 大規模地震想定①職員安否確認(システム)②業務継続対応職員確保③対象利用者連絡方法④サービス提供用備品・場所確保⑤その他準備
危機管理マニュアル	<ul style="list-style-type: none">・マニュアルの見直し、改定・拡充